1　糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c<7.0%
2　65 歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c<8.0%

指標の説明・定義

HbA1c は、過去 2～3 か月間の血糖値のコントロール状態を示す指標です。各種大規模スタディの結果から糖尿病合併症、特に細血管合併症の頻度は HbA1c に比例しており、合併症を予防するためには、HbA1c を 7.0%未満に維持することが推奨されています。したがって、HbA1c が 7.0%未満にコントロールされている患者の割合を調べることは、糖尿病診療の質を判断する指標の 1 つであるとされていました。ただし、インスリンが必要でもインスリンを打てない高齢者、認知症があり食事したことを記憶できない患者、低血糖を感知できない糖尿病自律神経症を合併している患者、狭心症があり血糖を高めにコントロールした方が安全である患者など、各患者の条件に応じて目標値を変えることが真の糖尿病治療の“質”であると考えます。

※「日本病院会　ＱＩプロジェクトより」より引用

〔１　糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c<7.0%〕

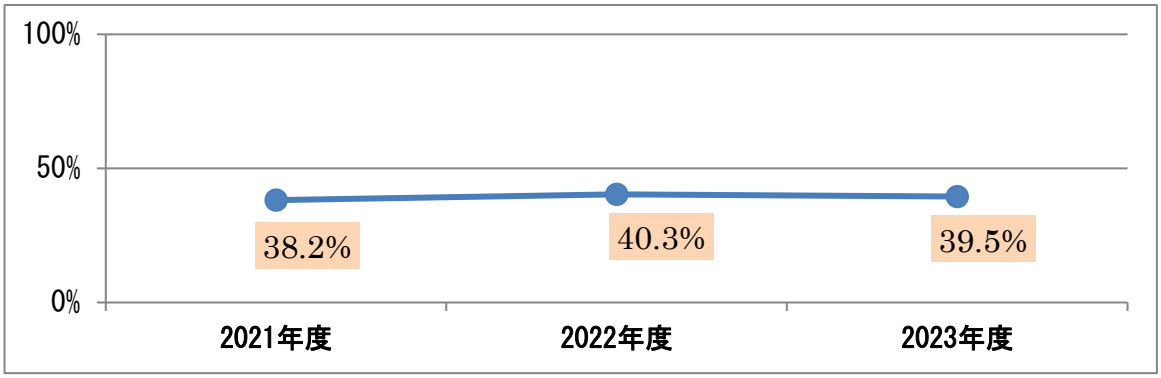
分子	HbA1c(NGSP)の最終値が 7.0%未満の外来患者数
分母	糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数）

〔２　６５歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c<8.0%〕

分子	HbA1c(NGSP)の最終値が 8.0%未満の 65 歳以上の外来患者数
分母	糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数）

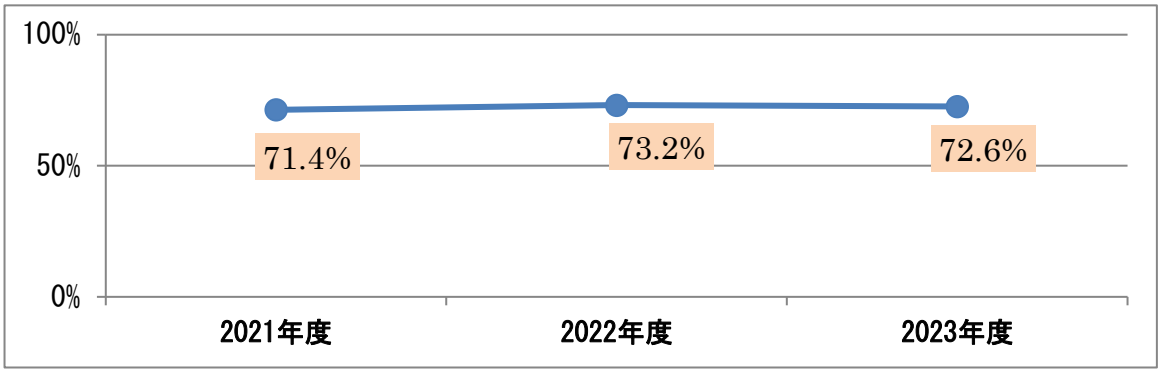
結果

〔１　糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c<7.0%〕



	2021 年度	2022 年度	2023 年度
分子	522 人	563 人	546 人
分母	1,367 人	1,396 人	1,381 人

〔２　６５歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c<8.0%〕



	2021 年度	2022 年度	2023 年度
分子	655 人	668 人	648 人
分母	918 人	913 人	892 人